

市民公開「介護セミナーⅡ」〈報告〉

～認知症をサポートする～

日 時：平成30年2月1日（木）15：00～16：30

会 場：香川大学幸町北キャンパス 研究交流棟5階 研究者交流スペース

テレビ配信会場：医学部（講義棟1階 大講義室A）

参加人数：幸町キャンパス28名、医学部キャンパス5名

2月1日（木）香川大学幸町キャンパスにおいて、市民公開「介護セミナーⅡ」を開催しました。

高松市より、健康福祉局長寿福祉部 地域包括支援センター地域支援係 吉川夏子氏、同じく健康福祉局長寿福祉部 地域包括支援センター地域支援係 高橋恵子氏をお招きし、ご講演をいただきました。

まず始めに、DVDを用いて認知症の方への望ましい対応・悪い対応についてご紹介いただき、認知症の主な症状についてやそれに至るまでの予防策、認知症の方への基本対応・基本姿勢についてお話しいただきました。また、セミナー参加者による「お昼ご飯を食べた」「食べてない」をめぐるロールプレイ等、非常に分かりやすくご講演をいただきました。

アンケートでは、ほとんどの参加者が「非常に参考になった」「参考になった」と回答しており、現在すでに認知症の方が身近にいる人も、まだ一度も関わったことがない人も、今回のセミナーで得た知識を将来の自分、また近所や知り合いの人、何より家族のために生かしていきたいと感じたようです。

日々の忙しい生活の中ではなかなか難しいことかもしれないが、なぜ出来ないのかと責め立てたり、認知症だからと切り捨てるのではなく、認知症について少しずつでも理解していくことで柔軟にサポートができ、それにより介護する側・される側の気持ちの負担も、少しは軽減できるのではないかと考えさせられるセミナーとなりました。

以下、セミナーについての参加者からの感想（一部抜粋）

- 認知症になっている方の気持ちを紹介していただき、考えさせられました。
- 家族だけでなく、地域の人としても知識を持っていたり、支援に関われる必要があることがよく分かりました。
- 実際の食事や買い物で、どういう対応の仕方が良いかという事例が、なるほどと思えた。
- 自分の親世代、また自分も近い将来のことを考えると、少しでも知識を得たいと思っていたので、大変役立った。
- DVDでの実例を見ることができ、分かりやすかった。参加者の方と意見交換もでき有意義であった。

…等



▲講演時の様子 幸町キャンパス会場



▲講演時の様子 医学部会場